

活動状況報告書（1月分）

1月を通じて、12月末に行ったファブリシオ氏へのインタビュー（約80分）の文字起こし作業を行いました。現在まで約2/3が完了。写真①

1月3日、カルス美術館にて亡命作家の作品展を鑑賞。国立美術館にてセルヒオ・エルナンデスの作品展を鑑賞し、マチエールの研究を行う。写真②

1月5日、11月に参加したサンルイス国際文学祭のディレクター、ビクトル氏と面会。

1月6日、絵画作品の制作を開始。写真③

1月7日、戦争博物館へ行き、インタビューの内容に関連する資料を撮影。フリーダ・カーロ美術館を見学。アジア・アフリカ研究センター同期で日本文学専攻のエゼキエル氏と国立劇場にて壁画、メキシコの写真展を鑑賞し交流。写真④

1月8日、コロンビア・メデジンの国際詩祭（妻の参加への同行）にメッセージビデオ作成。

1月10日、絵画作品の制作。13日までウィルス性胃腸炎にて休養。

1月16日、2月のオアハカ州取材のため、知人を通じて現地の方々へ連絡。

1月17日、コレヒオ・デ・メヒコ大学院大学にて、仏教、パリー語研究者のロベルト・ガルシア教授、日本文学研究のマティアス・チアッペ教授と面談。チアパス州に関する書籍「コーラを聖水に変えた人々」「エル・チチョンの怒り」を通読しマティアス教授へ寄贈。マティアス教授の研究の日本文学におけるメキシコへの言及について意見交換を行う。

1月20日、家住邦男氏の展覧会を訪問し、考古学研究者の柳澤佐永子氏と共に交流。

1月23日、ペルー出身のアーティストで友人のリタ・ポンセ・デ・レオン氏に文字起こしの校正を協力していただく。

1月24日、コレヒオ・デ・メヒコ出身作家Hiram氏の出版記念会へマティアス教授と参加し交流をする。写真⑤

1月26日、ファブリシオ氏と氏の営むピザ屋「テナバリ」にて文字起こし校正作業を行う。写真⑥

1月27日、リタ・ポンセ・デ・レオン氏と共に竹内淳氏の舞踏公演を鑑賞。

1月28日、コレヒオ・デ・メヒコ出身のダビッド氏と民衆文化博物館にてウィチヨール族、オアハカ州文化の展示を鑑賞し、交流。写真⑦

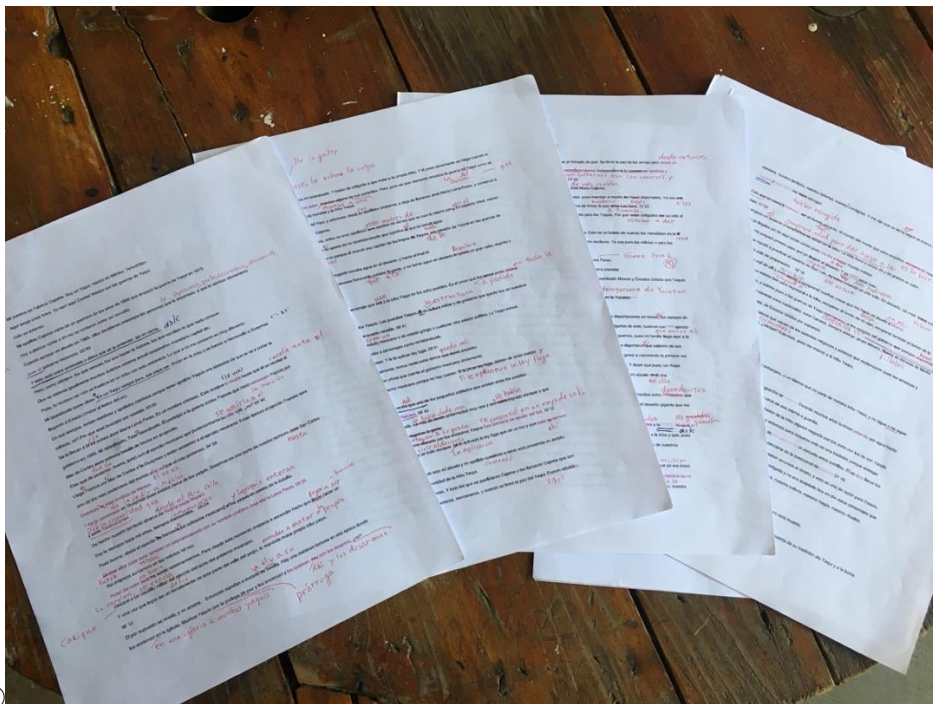
1月29日、UNAM 自治大学大学院在籍の心理学者アレクシス氏と交流。

1月30日、コレヒオ・デ・メヒコにて受け入れ担当のアマウリ教授、マティアス教授と面談。メキシコ市市内研究機関での資料の収集について指導をいただく。テナバリにてファブリシオ氏と校正作業を行う。氏の詩集より一編を日本語翻訳。写真⑧

1月31日、国立人類学博物館にてオアハカ州、北部一帯の考古学資料を見学。写真⑨国立映画館にてメキシコのドキュメンタリー映画 **Se me hizo tarde en México. Una carta a Gertrude**

を鑑賞。夜行バスにてオアハカ州へ移動。

1月19、22、23、24、30日はコレヒオ・デ・メヒコ大学院大学にて文字起こし作業を行い、アジア・アフリカ研究センターの日本科専攻学生とお互いの研究についての交流を行った。



写真①
文字起こしと校正作業

写真②





写真③


絵画制作

写真④



[f]
FIBELIO

TERTULIAS LITERARIAS EN



Buvette
gastrothèque

Presentación del libro:
"Todo pueblo es cicatriz"

Con el autor
Hiram Ruvalcaba

Invitada especial
Laura Sofia Rivero

Jueves, 25 de enero
8 PM

—+—

Cupo limitado



写真⑤

出版記念イベントにて作家、研究者と交流



写真⑥

ファブリシオ氏とのテキスト校正作業。



写真⑦



写真⑧

受け入れを担当して下さった日本美術専門のアマウリ教授



写真⑨